



NEWSLETTER

第29号 2000年7月1日発行

歯科保健医療国際協力協議会

事務局：〒390 長野県松本市横田 3-10-14 TEL&FAX：0263-39-1583

発行：深井穂博 編集：田中健 現会員数：178名

Japan Association of International Cooperation for Oral Health

これからのJAICOH

会長 深井穂博

本会は、「歯科の国際保健医療を語る会」を前身として、一九九〇年の九月に設立されました。設立当初は、

日本各地の歯科保健の分野で国際協力に関心をもったり、あるいはすでに活動されている個人や団体が集い、情報交換などを行なう場として発足しました。しかし、時代の要請から、

これまでカンボジア、ソロモン、ミャンマーなどで独自に国際協力活動も行ないながら今日に至っています。一〇年前と比較して、歯科保健の分野での国際協力の現状をみると、

JICAや国立国際医療センターなど公的な機関に歯科医師が配置され、しかもNGOの活動として多くの団体や個人が活動し一定の成果をあげています。また、JCOVやJICAでの経験のある歯科医師、歯科衛生士も多く生まれています。そして、歯科医学教育のなかでも「国際協力」が一定の位置づけをされるに至りました。

今後のJAICOHに求められる役割としては、

①国際協力を行っている団体や個人の間での連絡協議と、広く情報発信

に努めること

②個人や団体の活動を、要請があれば支援すること

③海外での活動に興味を持ち、これから活動したいと考えている若い人たちへの支援と情報提供を行なうこと

の三点に集約されます。

今年度は、前年度から引継ぎのミャンマーやカンボジアでのプロジェクトも経過措置として、JAICOHで行なうこととなりますが、次年度以降は、これらの活動もそれぞれ独立した組織として継続され、新たにJAICOHに加入する団体の一つとして加わっていただくという方針です。

このことは、現在の会員の皆様には、若干の戸惑いを与えるところもあると思いますが、皆様が本会に期待される主旨と大きくは離れないと考えています。

私の役割は、上記の主旨に沿って、皆が手をつなげるように、場所と情報の提供をするお世話係に徹することと考えていますので、これからもご協力をお願い申し上げます。

JAICOH NEWS LETTERは下記のご協力を得て作成されております

11か国語対訳
歯科診療会話集

監修 田中けい子

ページ1会話文とし、約370の会話表現に「英語/インドネシア語/中国語/ポルトガル語/タイ語/ベトナム語/アラビア語/スペイン語/ハンガリー語/ミャンマー語/シンハラ語」の訳をつけました。

●A5判414P ●定価(本体3,000円+税) ●送料340円

財団法人 口腔保健協会
TEL: 03-3947-8301 FAX: 03-3947-8073

「毎日、毎週……」
「繰り返し、繰り返し」

使いたくなる
ホームケア歯ブラシ

「ホームケア」歯ブラシ 0120-118418
株式会社 永山 0120-648581

はじめての
コンボジット直接充填!
はじめての1液性セルフ
エッチングプライマー!

ユニフィルF ■長期的なフッ素の徐放。
■ピタシェード9色+A03:CV.

ユニフィルボンド

■凝和不要、高便2ステップ。
■接着性モノマー「4-MET」による優れた接着性。

株式会社 ジーシー
DICフリーダイヤル 0120-416480

会長退任挨拶

村居正雄

一九九〇年五月、国際協力に熱き思いを持った約二十名の同志が、東京医科歯科大学に集まりました。議論を重ねる中で、以下の共通理念の下にJAICOHを立ち上げることになりました。

- ① 歯科保健の国際協力をしたい
- ② 国際協力に関する情報がほしい
- ③ ノウハウの積み上げが必要
- ④ 仲間を増やしたい

十年間会長として勤めさせていただき、曲がりなりにも歯科界に国際保健医療協力を認知していただくところまではきたと自負しております。具体的には厚生省、JICAなどへのアピール、日本口腔衛生学会を通じて、歯科医学教育に国際保健を位置づける要望、医科や一般の国際協力援助協力関係者に途上国における歯科保健の必要性を訴えてきました。ソロモン諸島、カンボジア、ミヤ

ンマーなどでの活動を通じて、相手国と目線を等しくして、決して日本の医療を押しつけないと言う基本理念を学びました。

地域で保健、医療、福祉から疎外された人々（老人や障害者、在日外国人）の問題を考え、行動すること、途上国の貧困、人権そして健康の問題は同一線上にあります。地域から国際へ、国際から地域へ、というJAICOHのキャッチフレーズは、活動の中から生まれたものです。

JICA、国際医療センター、世界銀行などで活躍するメンバーも誕生しました。若い学生や歯科衛生士達の国際協力に対するエネルギーの高まりもひしひしと感じます。一区切りつける時期と考え、次の世代にバトンタッチすることにしました。

後任の深井穂博先生は、埼玉県三郷市で開業の傍ら、地域保健に積極的に取り組み、国際医療経験も豊富です。新生JAICOHに、変わらぬご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

また総会において、私は金澤紀子さんとともに監事に選出されました。今後ともよろしく願っています。

総会・研修会報告

事務局

二〇〇〇年度

「JAICOH二〇〇〇年度総会及び研修会」は六月十一日（日）東京医科歯科大学歯学部病院において約四〇名が参加して開催されました。

午後一時より研修会を開催、JAICOHの各メンバーによる活動発表「国際協力の活動からスリランカ、カンボジア、ミャンマー、ブラジル」と国立国際医療センターの池田憲昭さんの講演が行なわれました。

活動発表では、東京歯科大の国際医療研究会の門井謙典さんが、「国際保健学生フォーラムの取り組み」というテーマで大学生の国際協力活動を紹介。その他、新潟大学の百瀬学さん／ミャンマーの活動報告、田中健一さん／ブラジルにおけるJICAでの活動報告、海野知子さん／スリランカにおける歯科衛生士の活動報告、柴田享子さん／カンボジアにおけるデンタルナース支援事業とそれぞれが活動報告を行いました。各人スライドや資料を用意し、分

かりやすく説明、若い人材が着実に育っていることが実証されました。

また国立国際医療センターの池田憲昭氏による講演「国際協力の現在・過去・未来」では、自らのJAICOHやその他のNGO、JICAなどにおける途上国での活動を振り返りながら、①なぜ海外なのか、②一人の人間としてどう関わり、何を学んできたなど、ボランティアの本質的な問題提起をして頂きました。

講演会は池田さんの要望で参加者全員が車座になり、参加者と池田さんがやりとりする形で進められ、それぞれの立場から国際協力に対するさまざまな意見が出されました。

この意見交換で、JAICOHが一〇年間の活動の中で培ってきた国際協力の多様性を確認することができたのではないのでしょうか。

二〇〇〇年度総会が引き続いて行なわれ、昨年度の事業報告と決算報告、本年度の事業計画と予算がそれぞれ説明され承認されました。

次いで村居正雄さんが会長を退任され、新会長として深井穂博さんが全員一致で選出されました。

最後はお茶とお菓子によるささやかな懇親会となり、和やかで有意義な交流の一日は幕を閉じました。

会長 深井 稔博

(ネパール歯科医協協力会・三郷市開業)

副会長 眞木 吉信

(東京歯科大学衛生学講座)

理事

黒田 耕平

時田 信之

夏目 長門

原田 祥二

平居 夕紀子

宇野 公男

鈴木 基之

小宮 愛恵

阿倍 智

田中 健一

柴田 享子

白戸 洋

羽中田 元美

金澤 紀子

村居 正雄

監事

(日本モンゴル文化経済交流協会・神戸生協同歯科)

(南太平洋医療隊・坂戸市開業)

(日本口腔蓋装協会・愛知学院大学口腔外科学第二講座)

(北海道ブータン協会・小樽市開業)

(ネパール歯科医療協力会)

(多摩全生園)

(昭和大学歯周治療学講座)

(国立公衆衛生院専門課程)

(東京医科歯科大学大学院)

(歯科医師)

(DHネットワーク)

(松商短大)

(歯科ベンクラブ)

(日本口腔保健協会)

(長野県上田市開業)

2000年年度
分科会・学生の活動報告

～国際保健学生フォーラムの取り組み～

【IHSF Japan発信、2000】

門井謙典 (かどい・かねのり)

「国際保健学生フォーラム2000」スタッフ
東京歯科大学国際医療研究会
kadoi@dd.tu4u.or.jp

国際保健学生フォーラムとは

国際保健に興味を持つ学生が交流し、情報交換する場が欲しいという思いのもと、五年前に発足しました。当初は大学ごとの、団体会員としての登録が必要でしたが、現在では誰でも自由に参加できるようになっており、医療系の学生のみならず、経済、文化、開発、法学等々の多様な分野の学生や社会人が参加しております。

主な活動内容

一、全国会
年に一回開かれる全国会では、国際保健に興味のある学生が全国から集まり、知識を深める場として、またネットワークをつくる場として機

能しています。それは、学生の学生による学生のためのメイン・イベントであり、本フォーラムの祭典といえます。

国際保健分野で活躍されている方々による講演・パネルディスカッションをはじめ、学生が休暇を利用して行った海外訪問や調査の報告・発表会、参加型の学習会であるワークショップ、各団体の海外活動のポスター展示などが行われます。手作りながら、実際に経験したことに基づく発表は、貴重な情報で、重要な情報交換の場となっております。毎年、十二月初頭に開催され、第五回を数える今年も福島で開催されます。

二、国際保健勉強会

関東を中心に月に一度、講師の先生を招いて勉強会を開いています。

全国会で興味を持った事柄について、講演会や研究発表、ワークショップなどでさらに知識を深めることができます。

三、インターネットによる情報交換

国際保健学生フォーラムでは、一般用のメーリングリスト【FORUM】と、スタッフ用のメーリングリスト【ZEN】があります。【FOR

JAICOH NEWS LETTERは下記各社のご協力を得て作成されております

スーパーポンドは、
1982年に発売以来
基本組成を全く
変えておりません。

矯正に、補綴物の装着に
動揺の固定に
支台築造に、垂直破折歯の保存に
生活象牙質切削面の保護に

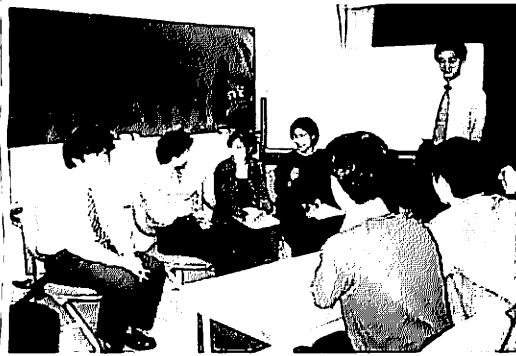
歯質と歯冠の
多目的歯科用接着材料

スーパーポンド

サンメディカル株式会社
フリーダイヤル：0120-418-303
URL: http://taihei.co.jp/sunmedical/

JAICOHの活動にご協賛ご寄付下さった方々
(2000年4月～2000年6月)

長田恵美、嶋根葉子、株式会社永山、石川和端子、大塚勝男、宮崎秀夫、関谷和夫、宮武光吉、石田弘夫、布山徹、三田コト、世良尚子、さかえ国際理解と交流の会(順不同・敬称略)



研修会風景 和やかな中にも真剣な意見交換が行われた

UM)では、各種NGOのイベント情報や、勉強会の情報、報告書、レポートが投稿され、一つのテーマについて議論をすることもあります。【ZEN】では、全国会の企画・運営のために設けられたスタッフ専用のメーリングリストです。

夏休みも過ぎた頃になると、一日に二〇通以上のメールが来ることもあります。

この活動に興味をお持ちの方は、いつでも私たちにアクセスしてください。小さいながらも力を合わせれば、新しい活動が見えてくるのではないのでしょうか。

カンボジアデンタルナース 支援事業報告(2)

柴田享子

今回は、先回四月号掲載の続報として一九九九年に実施した本事業「デンタルナース養成学校に対する歯科教材供与」について報告します。

第一回ミツシヨン...一九九九年六月五日、同月十一日/デンタルナース養成学校(DNTS)新校舎完成式参列および同校への歯科材料供与(二名派遣)

第二回ミツシヨン...二〇〇〇年三月十三日、十六日/供与した歯科材料のモニタリング(一名派遣) 本事業実施につき、(財)地球市民財団より四十八万円を助成金として支援を受けました。

本事業のねらいであった、彼等の自主性、自立性、自助努力をより発展させるということにおいては、両ミツシヨンを通じてかなりの手応えを感じました。

しかし、これを維持していくことは、当事国からの予算づけが為されていない現状と、削減されている外国NGOからの資金を考えると極めて困難と言えます。

そこで私達が出来るとは、彼等のモチベーションを維持するための機会を作ること、金銭的な支援が第一義であると思います。

またその一方で、口腔保健の向上を見据えた上での行政の立て直しを計るべく、政府への具体的な働き掛けをすることではないかと考えています。

デンタルナーススカラシツ
プ募金にご協力下さい!

今年九月から一カ月間、DNTS教員の一人が、アジア保健研修所(愛知県)主催の研修に参加します。皆さんとの交流会を一〇月に予定しています。ご支援よろしくお願います!

「募金方法」郵便振り込み

0052014123396

歯科保健医療国際協力協議会
通信欄に「デンタルナース」とご記入ください。

一〇千円より何口でも

目標金額三〇万円

ご意見・ご質問は左記へ

Fax052-504-3718

Email / 04135@nifty.ne.jp

柴田宛

JATCOH NEWS LETTERは下記の各社のご協力を得て作成されております

NSK ナカニシの
ハンドピースは、
世界中の先生方に
愛用されています。

NSK 株式会社 ナカニシ
〒322-8666 栃木県鹿沼市上日向340

株式会社 松風

SHOFU

時代のニーズに応えるビデオ!

口腔介護の実践(全3巻)

I. 訪問歯科診療
口から食べるための支援
口腔介護とリハビリテーション
(歯科医師向け/26分)

II. 歯科衛生士の訪問口腔ケア
要介護者のQOLの向上を目指して
(歯科衛生士向け/27分)

III. 介護者の口腔ケアのポイント
美味しく楽しく食べられるために
(介護者向け/25分)

★各1巻16,760円(税込) ★3巻セット価格42,000円(税込)

DENTAL 株式会社 デンタルダイヤモンド社
〒113-0233 東京都文京区本郷19-15番4号 TEL: 03-5374-9121 FAX: 03-5374-9125